

社会学系コンソーシアム・日本学術会議 第9回シンポジウム

現代社会における分断と新たな連帯の可能性 —階層・世代・地域・民族・情報の視点から—

2017年1月28日(土) 13:00~16:30

日本学術会議講堂(東京メトロ千代田線「乃木坂駅」5番出口徒歩1分)

1980年代以降、情報化とグローバル化の進展に伴って社会的相互依存が深まる一方で、現代社会にはさまざまな亀裂が生じています。いったん縮小するかに見えた格差は再び増大する傾向を見せており、格差は階層間にとどまらず、世代間・地域間にも及んでいます。EU離脱をめぐるイギリスの国民投票や米国の大統領選挙から見えてくるのは、これらの格差が社会的分断にまで発展する可能性です。シンポジウムでは、階層・地域・世代・民族・情報という多角的な視点から、現代社会における格差や分断のメカニズムを検証するとともに新たな連帯の可能性を探ります。

開会挨拶

遠藤薫(社会学系コンソーシアム理事長、日本学術会議社会学委員会委員長、学習院大学教授)

報告

「日本社会における格差と不平等の動態」

竹ノ下弘久(数理社会学会会員 上智大学教授)

「社会保障制度の受益者と負担者という分断——特に世代対立をめぐって」

岩田正美(日本社会福祉学会会員 日本女子大学名誉教授)

「地域格差と地域間連帯の可能性——「平成の大合併」を手がかりに」

丸山真央(地域社会学会会員 滋賀県立大学准教授)

「外国人・移民の社会統合の社会学」

宮島喬(日本社会学会会員 お茶の水女子大学名誉教授)

「アメリカ社会における社会的分断と連帯——メディアと政治的分極化」

前嶋和弘(日本マス・コミュニケーション学会会員 上智大学教授)

討論者

矢澤修次郎(日本学術会議連携会員 日本社会学会会員 一橋大学名誉教授)

安達智史(日本社会学会会員 近畿大学専任講師)

オーガナイザー・司会

正村俊之(社会学系コンソーシアム理事、日本学術会議連携会員、大妻女子大学教授)

閉会挨拶

野宮大志郎(日本学術会議フューチャー・ソシオロジー分科会委員長、中央大学教授)

主催:社会学系コンソーシアム、日本学術会議社会学委員会フューチャー・ソシオロジー分科会
お問い合わせ:社会学系コンソーシアム事務局 socconsortium@socconso.com

※参加費・事前申し込みは不要です